



# 尾原ダム周辺整備 「島根県さくらおろち湖自転車競技施設」が竣工



尾原ダム周辺地域活性化のひとつとして島根県で整備が進められていた自転車競技コースと拠点施設が完成し、竣工式が五月十五日、同拠点施設（雲南市北原）で行われました。

この競技コースは、ダム周辺の市道・町道やダム堤体を活用した一周十二・三キロのロングコースと九・八キロのショートコースの二コースを設け、中国地方では二箇所目となる、

日本自転車競技連盟の基準に適合したコースとして整備されました。

また、競技会開催に向け拠点施設も整備。シャワー室・トイレや会議室を備えた大会本部施設のほか、多目的広場（約四平方メートル）、東屋約三百台収容可能な駐車場など、計一万平方米にわたる整備されました。

式には、主催者である溝口善兵衛県知事や、細田博之衆議院議員をはじめとする多くの来賓、関係者など約百四十人が出席。

溝口知事からは「自然豊かで風光明媚な競技コースができた。今後は各種自転車競技大会や近隣の観光施設との連携によるサイクリングイベントなどにも有効利用し、地域の活性化に役立ててほしい」とあいさつ。さらに井上町長は「この競技施設、三成のサイクリングターミナルを活用した町づくりを進めたい」と祝辞を述べました。

大会本部施設前での



オープンサイクリングの様子

またこの日は、国道三二四号沿いに「道の駅さくらおろちの里」もオープンしました。（雲南市主催）

尾原ダム周辺では、ダム湖を利用したポート施設、佐白地区交流拠点施設など様々な施設整備が進められています。今後は、各施設が連携した地域づくりと活性化が期待されます。



競技開始直前の選手たち

**新しいコースで初めての自転車競技大会**

五月二十九日には、竣工したばかりの競技コースを使い、第四十四回島根県自転車競技選手権大会（兼第四十九回島根県高校総体自転車選手権大会）が開催されました。

競技は、ロングコース（十二・三キロ）を五周するタイムレース。あいにくの雨模様でしたが、選手たちは新しいコースを力走しました。

なお、六月には中国地域自転車道路競走大会が開催されるなど、今後もこの会場で多くの大会が開催される予定です。



## 主要地方道 横田多里線 完成式

横田地区の中心市街地を通る主要地方道横田多里線の街路事業・交通安全事業が竣工し、完成式が五月二十八日、横田地域都市計画推進協議会（岩佐捷治会長）が主催し行われました。

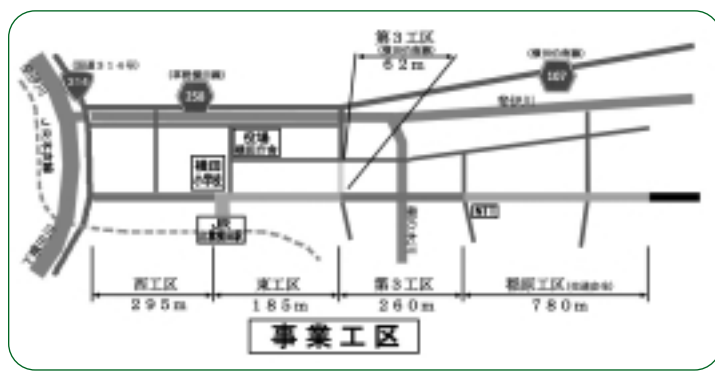
同路線の整備は、安全・快適な道路空間の確保と横田市街地の活性化を目的とし、平成五年度、街路事業に国道三一四号側から着手。西工区、東工区、第三工区の三工区の整備を進めながら、平成十五年には稲原工区として交通

安全事業に着手し、総事業費約五十三億円で約一・六キロの区間を整備しました。

整備区間には、無散水消雪施設、電線類の地中化など、近隣では見られない先進的な施工がされたほか、JR出雲横田駅前広場の整備、デザイン照明の採用など、快適でゆとりのある景観が形成されています。

横田小学校前では、地元住民や移転関係者など約百人が出席し、見継敏博県土木部次長、岩佐会長、井上町長、路線沿線に住む横田高校生の諏訪智之さんなど関係者七人によるテープカットや出席者全員でのパレードを行い、道路と新たな街並みの完成を祝いました。

また、横田コミュニティセンターで行われた式典で、岩佐会長は「平成元年の推進協議会設立から、住民と行政が一体となって事業を推進してきた。自分たちの描いていた



横田小学校前で挨拶する岩佐会長

横田市街地のまちづくりが完成した」と完成の喜びを話し、出席者も地域振興と沿線の活性化への思いを新たにしていきました。



## 新しい街並み